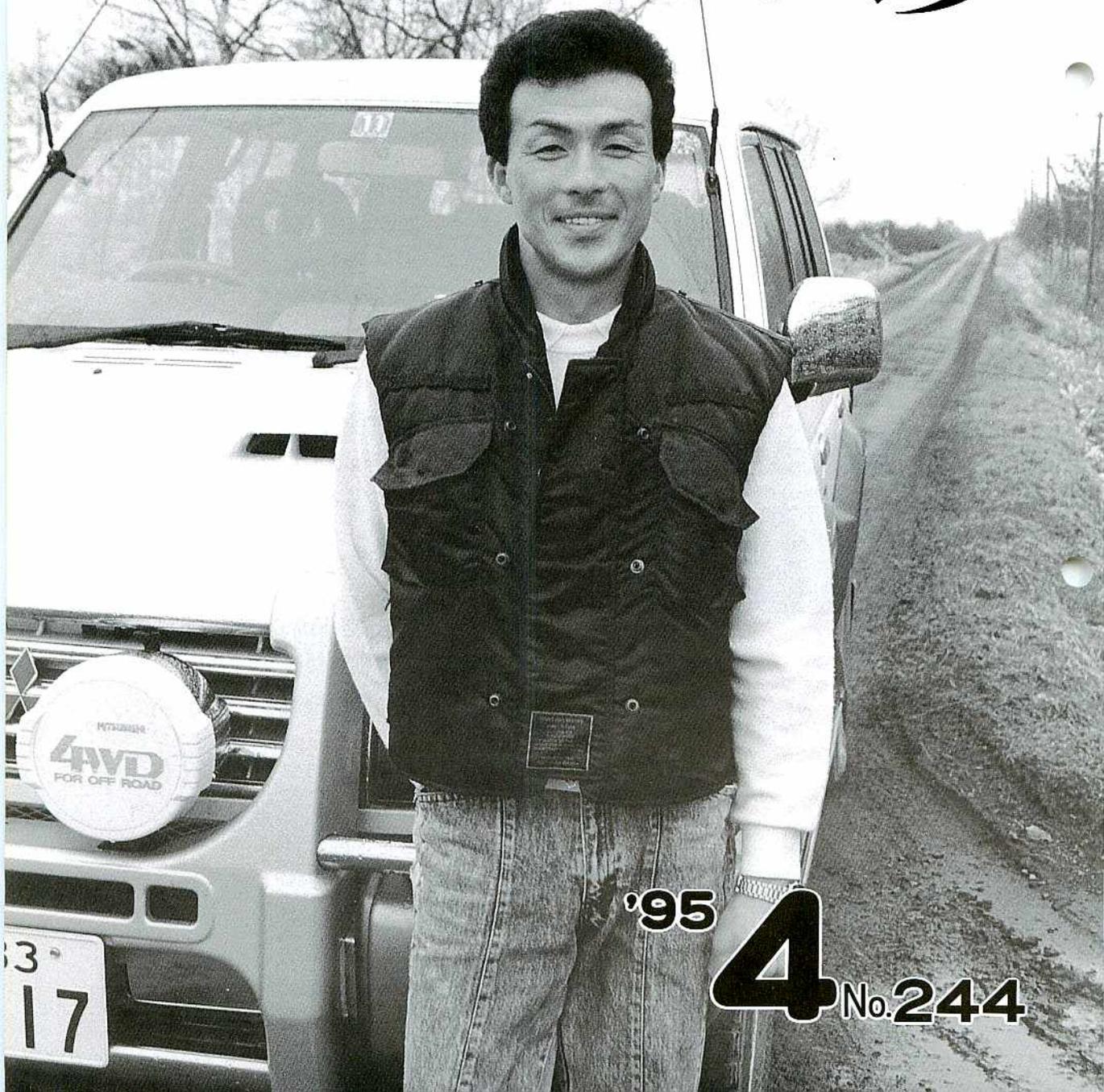


のうきよう まがしづ



'95

4 No.244

のうきょう ものがいづつ

中標津から東京・千歳線に
A320「ユーロ・サルーン」が導入
大型のシート、充実のオーディオ
サービスで空の旅がますます
楽しくなります。



もくじ

- 3 ——— 〈未来を担う若者〉
先を急がず着実に
阿部文雄さん(37歳)
- 4 ——— 〈営農技術〉
牧草種子組み合わせの考え方
- 5 ——— 開陽地区乳質全戸パーフェクト
- 6 ——— 〈わが家の人気者〉
妹のおもりならまかせて
室井義継くん(4歳)
- 7 ——— 根室管内酪農民大会
- 8~10 — 〈特集〉
平成7年度畜産物価格関連対策
- 11 ——— JRホルスタインクラブ定期総会
& スプリングスクール
- 13 ——— 〈組合長日誌〉
乳価決定に思う事
- 14 ——— 〈ミルクタイム〉
拝啓清少納言様、春3月乳価の季節
- 16 ——— 地区別懇談会
- 17 ——— 理事会の経過
- 18 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
野菜の育ちやすい環境とは
- 20~21 — 今月のフォトアルバム
- 22 ——— 3月の組合日誌

あす 未来を 担う若者

拓農地区 阿部文雄 さん(37歳)



川の流れるように、あせらずマイペースで行きたいと話す阿部文雄さん

「父から経営を受け継いで六年目、やっと自分なりの経営スタンスが出来上がって来た」と話す阿部文雄さん。

現在、六十三畧の経営面積に、乳牛約百頭を飼養する酪農専業農家です。文雄さんは三人兄弟(兄、妹)の次男で、小さい頃から動物好きだった事もあり、小学校の五、六

先を急がず着実に

んにも理解を得、放牧体形にしてもらったり、研究用の牛を借りるなど協力をしてもらったそうです。充実した高校の四年間(この頃は季節定時制)を過ごし、卒業後は酪農先進地へ実習に行きたかったのですが、家庭の都合でやむなく家業に就いたそうです。

しかし、ちょうどその頃、文雄

さんにとって酪農を益々魅力あるものにさせて行く出合いがありました。それは、

「クレンヤード・ハ

ッピー・スカイラーク」という一頭の牛で、地域の友だちなどから

「この牛いい牛だから共進会に出してみないか」と誘われ、出した

ところが、みごと農協総合共進会で最高位賞に輝き、出品した文雄さん自身もびつくり。これを期に共進会にも力を入れる様になり、

今までも数々の牛を上位入賞させている。経営面でも着実に内容



充実に取り組み、個体乳量も約六年間で二千鈴ほどアップ、今は、二年前に作ったパドックと給与場が牛の疾病や乳成分の向上、労働力の軽減にと成果を上げている。

将来的には、フリーストールにして行きたいが、あまり周りに左右されず自然の中でマイペースに行きたいとの事。また、農業にも楽しさが必要と、今年はヘルパーを利用して家族での小旅行を計画。

さらに息子二人が入会するJRHホルスラインクラブでリードマンシヨウに参加して、親子で全道共進会に出場したいと、家族皆さんで楽しみのもてる農業作りを取り組みたいと話す文雄さんです。



アウトドアの車も購入、家族旅行が楽しみです

牧草種子組み合せの考え方

高品質の粗飼料を確保するためには、草地更新時に目的に合った種子組み合せにすることが、第一歩となります。

今回、平成七年度の牧草種子組み合せ例を一採草地、二採草放牧兼用地、三放牧地について改訂いたしました。

③シロクローバについては、「カルフォルニアアラジノ」と「ソーニャ」を用いて主体草種の品種と利用法によって組み合わせています。考え方としては、「カルフォルニアアラジノ」は再生草勢が比較強い品種と組み合せマメ科率の維持をはかり、「ソーニャ」については、再生草勢の比較的弱い品種と組み合わせることによって、イネ科牧草の維持をはかります。

①チモシーのは種量は、根釧農試の試験成績に基づいて上限を一・八詰／十疋としました。

②チモシー主体草地におけるアカクローバの品種については、再生草勢の穏やかな「ホクセキ」として、二番草におけるクローバ優占の軽減をはかります。

また、この「ホクセキ」は「サッポロ」にくらべて永続性が優れ

④チモシー中生種型については、新品種の「キリタツプ」を用いています。この品種の特性としては、出穂始は七月二日であり、「ノサツプ」に比べ十日遅い品種です。耐倒伏性は中程度あり、二番草の再生力は良好であり、多収でもあり



ます。

⑤チモシー早生種型については、「ホクセキ」のは種量を○・二詰／十疋と○・四詰／十疋、そしてシロクローバを「ソーニャ」と「カルフォルニアアラジノ」に区分して、マメ科率を維持できるタイプと一般的なタイプに区分しました。これによって利用目的別の選択の幅を拡げています。

この草地の利用法としては、一番草を収穫後、二番草を草丈四五センチで年二〜三回利用します。この利用に対応するため、チモシーメドフェスク型とチモシーオーチャードグラス型の二タイプとし、いずれもチモシー主体であり、補助としてメドフェスクを○・三詰／十疋を入れた型とオーチャードグラスを補助として○・三詰／十疋を入れたタイプに区分しています。

三、放牧地

四タイプからなり、オーチャードグラス型（オーチャードとメドフェスクとシロクローバの組み合せ）、チモシー型（チモシーとシロクローバの組み合せ）、チモシーオーチャードグラス型（チモシーとオーチャードグラスとシロクローバの組み合せ）と他の一タイプからなっています。この中でチモシー型については、旧来メドフェスクが入っていましたが、草丈が三十センチ程度の集約的利用により、年七〜八回利用した場合、メドフェスク優占となるため今回省きました。

開陽地区乳質全戸パーフェクト



地域全体の快挙に表情も明るい開陽地区の皆さん

開陽地区（生乳出荷戸数二十五戸）では、二月分の受託検査で全戸が体細胞数三十万個以下、生菌数三万個以下を達成し、これを祝う記念昼食会が三月二十九日、開陽館で開催されました。

このことは、農協が地区別共励会を実施してから初めての出来事で、高品質の生乳が求められる時代背景を考慮すると、まさに快挙と言えます。

昼食会には二十二戸の組合員が出席、酪対開陽支部長・土井上昭

共励会始まって以来の快挙

男氏が「一人ひとりの努力の積みかさねが、今回の結果に結びつきました。しっかりとした経営感覚をもち、今後についても地域一体となつて頑張つて行きましょう」とあいさつ。また、JAや共済組合などの関係機関も出席し、この快挙に祝福を送りました。

開陽地区が切磋琢磨し、日頃より努力されていることに敬意を表するとともに、さらに継続される事を願う次第です。

すでに承知のように、昨年十月



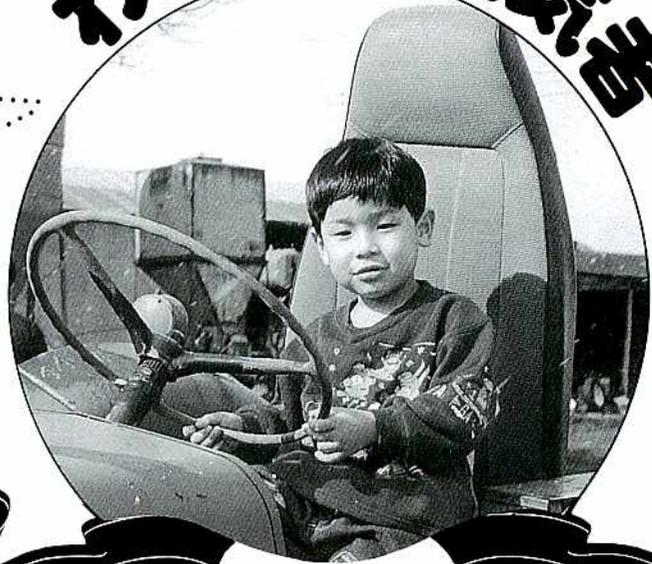
昼食会では笑顔で話しも弾みます

から乳代の精算は乳質が加味され、高品質の生乳については奨励金が交付されています。言いかえれば、制度の仕組みの中で、低品質のもの手取り乳価が下がる事になるため、直接クミカンに影響を与えるほか、乳房炎による損失を加味すると、程度の差はあれ、経済的損失を負う結果となります。

今回の開陽地区の成果を踏まえ乳質の向上に一層努力されるようお願いいたします。

わが家の人間味

妹のおもいなら
まかせて!



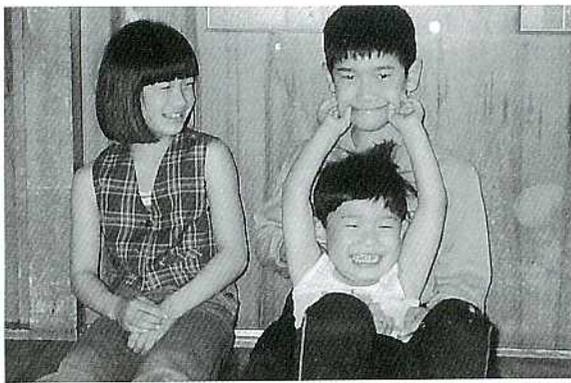
西当幌 室井祐二・美智子さんご夫妻

次男 義継くん(4歳)

外で遊ぶ事が大好き、毎日元気
いっぱいの男の子・義継くん(四
歳)は、室井さん宅の次男坊。
で、家の中では、ガラスを割って

しまう事もしばしば。そんな話し
をしている間も、元気に走り回る
義継くんを見て、「自分、新しいガ
ラスを入れない方がいいな」とい
うお父さんの言葉に、お母さんも
笑います。

お兄ちゃんの義継くんと、お姉



けんかもするけど仲良し兄弟です

ちゃんの沙織ちゃんも今は春休み
なので、家の中にはぎやか。ケン
カは絶えないけど、仲良くなるの
もあつという間な仲良し兄弟なの
です。

三人集まれば、楽しい事もたく
さん、外にあるいろいろな物が、
子ども達には、楽しいオモチャに
なるようです。そんな元気ぶりで
すから、義継くんの服がドロだら
けになる事も、めずらしくないよ
うです。

お仕事も、兄弟で分担が決まっ



ほく、お兄ちゃんになっちゃったヨと
うれしそうに妹の面倒をみます

ているようで、お兄ちゃん達は、
担当している牛がいます。その間、
義継くんは、妹の志織ちゃん(三
カ月)のおもいをするというから、
チームワークもバッチリなのです。

妹が生まれる前から「お兄ちゃ
んになるんだ!」と楽しみにして
いたそうで、カワイイ妹が誕生し
てからの、優しいお兄ちゃんぶり
は言うまでもありませんね。

もちろん、牛舎に行く事も、楽
しみのひとつですが、お手伝いよ
りも、遊び場になってしまうよう
です。

大きくなったら、お父さんにト
ラクターを買ってあげるとい
う、頼もしい夢を持っている義継くん。
将来がとても楽しみな室井さん
一家でした。



保証乳価現行堅持を

24項目の要請とスローガン確認

根室管内酪農民代表者集会



要求実現に向け出席者の表情も険しい

平成七年度酪農、畜産政策価格などの要求実現に向け、根室地区酪農対策協議会と根室の酪農を守る会の主催による、根室管内酪農民代表者集会が三月四日、中標津町・ホテル秀月を会場に開催され、管内から約二百人が参加し、二十四項目の要請と集会スローガンを確認、出席した鈴木、北村両地元選出国會議員に対し、要求実現に向け実情を訴えました。

集会では、根室地区酪農対策協



会場からは意見、要望が多数出されました

議会の枳穀勝久会長が「国際化実行初年度に当たり、保証乳価、酪農政策決定に向けて、力強く運動展開を行なわなければならない」とあいさつ。続いて、JA中央会農畜政部の戸塚守部長が情勢報告。その後、新しい農業農村の基本法の制定、加工原料乳保証価格の現行価格堅持、限度数量の適正な設定、酪農経営体質強化緊急特別対策の拡充など二十四項目の要請を確認し、「新しい基本法の制定」「現行価格の堅持」「所得確保政策の実現」「需要拡大対策の拡充強化」の四大会スローガンも確認しました。

また、鈴木、北村両代議士との対話集会では、出席者の青年部員や、生産者から質問や力強い要望が出されていました。

特集

平成7年度畜産物価格関連対策

政府は、平成7年度の加工原料乳保証価格や関連対策を三月二十九日に決定いたしました。

乳価は当初、引き下げる意向でしたが、経営合理化促進のための助成金二円を継続。さらに生クリームや低脂肪牛乳の振興などに一円の対策を折り込み、実質乳価は据え置きとなりました。

また、限度数量も生乳の生産事情や需給動向を考慮し、前年同様二百三十万トとなりました。

平成7年度畜産物価格関連対策

〔酪農関係〕

一、生産・経営対策

(一)酪農安定特別対策(約五十五億円)
国産生クリーム及び低脂肪牛乳などの生産振興を図り、酪農経営安定に資するため、国産生クリーム及び低脂肪牛乳など向け生乳の需要拡大のための緊急特別対策を実施する。

また、国産ナチュラルチーズの生産振興を図るため、生産性の高い生産者に対するチーズ原料乳の生産拡大奨励などの措置を講ずる

平成7年度 畜産物政策価格

保証価格、限度数量 ともに据え置き

保証価格75.75円/kg、限度数量230万ト

とともに、国産ナチュラルチーズの新製品開発及び知識の普及のための助成を行なう。

(二)酪農経営安定対策(約百十七億円)

①生乳の適正な需給均衡を図りつつ、酪農経営の一層の合理化を推進するための特別対策を実施する。
②酪農の担い手の定着化と酪農経営の安定的発展に資するため、酪農ヘルパー組織の安定的運営のための支援措置を講ずるとともに、飼料生産外部化組織体の育成強化のための措置を講ずる。

③大家畜経営の体質強化及び後継者の経営継承の円滑化を図るため、既往借入金金の借り換えに必要な長期低利資金の融通などの措置を講ずる。

④初生牛の自家哺育、育成、経産牛肥育など乳肉複合経営を推進するための奨励措置を講ずる。(食肉関係と共通、(食肉関係)一の(一)の②を参照)

(三)酪農経営体育成強化対策(約七十九億円)

生乳の計画生産との整合性を保ちつつ、生乳生産の大宗を育成すべき酪農経営に早急に集約し、生産構造を改善するための酪農経営体育成強化緊急対策事業を適切に

実施する。(UR関連対策)

(四)畜産環境保全対策(約九億円)

畜産経営の環境整備を図るため、高度なふん尿処理装置の整備促進のためのリース料に対する助成を行なうとともに、民間における先進的な家畜ふん尿処理技術の開発に対する支援を実施する。また、畜産廃棄物の円滑な処理を推進するための家畜死体冷却保管施設の整備、化製製品保管施設の整備、不可食物などの堆肥化施設の整備などの助成措置を講ずる。

(五)良質粗飼料の生産体制の整備強化
飼料用大麦の丸粒流通、経営、財務管理に関する実践的指導を行なう。

二、加工・流通・消費対策

(一)牛乳乳製品消費拡大対策(約二十七億円)

①牛乳乳製品の一層の消費拡大を図るため、牛乳乳製品の消費動向調査、牛乳乳製品と健康に関する正しい知識の普及、需要増進を目的とした牛乳乳製品フェア・料理講習会の開催、幼稚園、老人ホームなどでの牛乳の集団飲用の促進などを一体的に実施する。

②生産者団体及び乳業団体が、緊急に実施するテレビなどの宣伝力

を活用した牛乳乳製品の全国的な普及宣伝、飲用牛乳販売促進のための特別キャンペーンなどに対する助成を行なう。

(二) 中小乳業など合理化対策（約五億円）

中小乳業などの合理化を図るため、乳業施設の整備、中小乳業者に対する経営診断などの実施、新技術の開発・導入及び新商品開発の推進などに助成するとともに、牛乳販売店の体質強化を図るための経営管理機器などの貸付けなどの措置を講ずる。

(三) 生乳需給調整強化対策（約六億円）

飲用向け生乳の需給調整などを図るため、飲用牛乳市場の安定化などに対して助成するとともに、消費地ブロックにおける需給調整タンクの整備、余乳処理拠点施設の整備などの助成措置を講ずる。

(四) 酪農経営の総合的な安定を図る観点から、飲用乳価の現行水準の確保に向けて、指定生乳生産者団体と乳業メーカーとの間で対等平等な交渉が行なわれるよう努める。

〔食肉関係〕

一、生産対策

(一) 肉用牛生産拡大対策（約二百四十五億円）

① 肉用牛の生産拡大を図るため、肉専用種について、子牛価格低落時における繁殖雌牛の増頭、維持に対する助成を実施することとし、黒毛和種については前年と同様、子牛価格が三十五万円を下回った場合において、価格低落の程度に応じた助成を行なう。

② 肉用牛の生産基盤を強化するため、乳肉複合経営の推進、黒毛和種繁殖雌牛群の整備、離島など条件不利地域における肉用子牛の購買促進、肉用牛の生産拡大のための集団活動、日本短角種など地方特定品種の生産流通の安定などに対する助成を行なう。

(二) 低コスト生産推進対策（約十八億円）

肉用牛などの一層のコスト引き下げを推進するため、効率的な肥育技術の定着化を促進するとともに、優良受精卵の安定的供給及び広域流通体制の整備、良質粗飼料の生産体制の整備強化、飼料生産外部化組織体の育成強化のための措置を講ずる。また、本年四月から、飼料用とうもろこしについて

丸粒流通が措置されたが、飼料用大麦の丸粒流通についても、平成七年中に実施し得るよう措置する。

(三) 肉豚生産性向上対策（約十二億円）

肉豚の生産性向上を図り養豚経営の体質を強化するため、優良系統豚などの緊急導入促進、優良な種豚の改良及び普及利用の推進、飼養管理技術情報などの分析、提供のための助成措置を講ずるとともに、経営・生産技術の向上などのため、の集団活動に対する助成を行なう。

二、経営対策

(一) 畜産経営安定対策（約四百三十六億円）

① 肉用子牛生産者補給金の交付に伴う生産者積立金の財源不足に対処するため、全国肉用子牛価格安定基金協会から、都道府県肉用子牛価格安定基金協会に対して行なわれている融資について、その償還円滑化のための措置を講ずる。

② 肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、その経営の安定を図るため、収益性悪化の程度に応じた、経営の継続に必要な経費の負担を軽減するための措置を講ずる。

③ 豚肉の基準輸入価格の引下げな

どに対処して、養豚経営の安定に資するため、都道府県単位で実施される価格差補てん制度の安定的運営をバックアップするための、地域肉豚生産安定基金造成事業を適正に運営する。(UR関連対策)

④ 大家畜経営及び養豚経営の体質強化並びに後継者の経営継承の円滑化を図るため、既往借入金借り換えに必要な長期低利資金の融通などの措置を講ずる。

⑤ 畜産経営の安定を図るため、農協などが、先進的な畜産経営技術などの普及啓もう、経営・財務管理に関する実践的指導を行なう。

(二) 畜産環境保全対策（酪農関係と共通）

三、加工・流通・消費対策（約五十九億円）

国産食肉の市場競争力の確保のための食肉流通施設の整備に対する助成を行なうとともに、食肉消費の拡大を推進するため、J・ビーフシンボルマークなどの普及・定着、輸入食肉の原産国表示など適正な表示販売、国産食肉を利用した新製品の開発、食肉消費動向の把握・分析、食肉知識の普及啓もうなどを実施する。

加工原料乳保証価格等

		6年度	7年度
保証価格		75.75円/kg	75.75円/kg
基準取引価格		64.26円/kg	64.26円/kg
限度数量		230万 ^ト	230万 ^ト
安定指標価格	バター	993円/kg	993円/kg
	脱脂粉乳	12,841円/25kg	12,841円/25kg
	全脂加糖れん乳	8,055/24.5kg	8,055円/24.5kg
	脱脂加糖れん乳	7,193円/25.5kg	7,193円/25.5kg

平成7年度畜産物価格

1. 指定食肉安定価格

(単位：円/kg)

		6年度	7年度
牛肉	安定上位価格	1,140	1,100
	安定基準価格	875	840
豚肉	安定上位価格	540	525
	安定基準価格	400	400

2. 指定肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格

		6年度	7年度
保証基準価格	黒毛和種	304,000	304,000
	褐毛和種	280,000	280,000
	その他の肉専用種	208,000	204,000
	肉専用種以外の品種	162,000	157,000
合理化目標価格	黒毛和種	267,000	267,000
	褐毛和種	246,000	246,000
	その他の肉専用種	163,000	153,000
	肉専用種以外の品種	126,000	114,000

合理化目標価格の適用期間

今回の合理化目標価格の適用期間は、平成7年4月1日から平成8年3月31日までとする。

第6回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会



多数の出席で開催された定期総会

JRホルスタインクラブ定期総会 & スプリングスクール開催

将来を担うジュニアに期待

第六回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会及び第十回スプリングスクールが三月二十八日、農協大会議室を会場に開催されました。

総会では会員二十四人、父母及び関係機関から十八人が出席し、

全員による誓いのこと

ばを朗唱。会員リーダー

遠藤洋志君、運営委員

長・佐々木昭雄氏が、

平成六年度の活動を振

り返り開会のあいさつ。

続いて新入会員、奥

田悠平君ら三人に会員

証とカウボーイハット

が授与されました。

また、米賓の児玉経

済部長（中標津町）、佐

野参事（JA中標津）

からは、「将来中標津町

の農業を担うため、今

後もがんばっていただ

きたい」と将来に期待

を込めたあいさつが行



カウボーイハットが授与され、会員の仲間入りです

なわれました。

総会議事については別室で会員

の父母が審議、全議案が承認され

ました。

今年度の主な活動は、管内合同

サマースクール（八月七日～八日）、

全道共進会ジュニア特別クラスの

参加（十月六日～八日）秋の収穫

祭（十月上旬）、ウインタースクー

ル（一月上旬）などが計画されて

います。

父母の総会議事審議中には、第

十回スプリングスクールを実施、

昨年、川崎市児童との交流会に参



親子ボウリングを楽しみました

加した遠藤洋志君が交流会の状況を報告、その後、七年度の活動内容確認とリーダー改選が行なわれ、午後からは親子親睦ボウリングで楽しい交流の場となりました。

平成七年度新リーダーは次の通りです。

ジュニア新リーダー 広瀬 寿樹

〃 サブリーダー 筒井 豊彦

地区リーダー 寺西 貴政

弾正原あかね、中司 展人

新入会員を募集しています！

中標津ジュニアホルスタインク

ラブ加入希望者は、JA中標津事

務局（家畜改良課）まで連絡下さい。

方向を探る 活発な意見



将来に向けての活発な意見が述べられた総会

肉用牛貸付事業を四年経過し、地域畜産活性化総合対策事業（地域低コスト生産集団育成）の補助事業三年目を迎えた、中標津町和牛生産振興会（中標津肉牛生産振興会和牛部会・竹村満夫会長、会員二十人）の平成七年度総会が三月二十二日、農協中会議室で開催されました。

輸入牛肉の影響で肉用牛が低迷する中、黒毛和種においても少なからぬ影響が出ているなかで、今後の経営においての方向を探るべく活発な意見が交されました。

主な内容としては、

一、肉用素牛として仕上りの平均化
現在哺育、育成の段階で飼養農家に差があり、それが販売価格に出ているので、商品として良い品物を作るべく底上げが必要。

二、優良精液の確保

現在は繁殖牛頭数も少なく、著名種牡牛の精液は十分授精出来るが、今後は不足が生じる可能性がある。計画的な使用とある程度先物買いも必要になる。また、和牛精液については振興会で購入できるようにしたい。

三、受精卵の活用

和牛動向の講演会も開催



和牛の動向を説明する杉本氏

低コスト生産を目指すには、繁殖牛を持たず、乳用種を利用した受精卵移植を活用し和牛を生産することである。今後は繁殖牛とE.Tの両方で和牛の生産をする。

四、改良組合認定が目標

現在、北海道で二十二カ町村が和牛改良組合の認定を受けているが、中標津町においては規模、内容共に条件が揃っていない。近い将来は、この認定を受けるべく条件整備を致したい。

五、乳雄、畑肉部会との連携

同じ中標津肉牛振興会の一組織として、研修会、講習会などについて積極的に協力、参加する。

以上の事項について決議し、総会終了後、北海道農業開発公社、畜産部の杉本和彦氏の「近年の和牛の状況と市場の動向」について講演が行なわれました。

受精卵 移植料金の改訂

受精卵移植は平成二年から中標津町農協でも開始され、優良ホルスタイン及び黒毛和種の増殖に力を注いでまいりました。

近年においては新鮮卵、凍結卵を問わず、その利用度は高まり年々増加の傾向にありますが、四月一日から受精卵移植に係る器具、器材、消耗品の全てが値上がりとなり、現行料金での対応が出来なくなりましてので、新年度から料金を改訂させていただきますので宜しくご了承願います。

○新鮮卵移植

現行 一万円

改訂 一万二千元

○凍結卵移植

現行 一万五千元

改訂 一万七千元

乳価決定に思う事

適正条件に
相応しい経営展開

冬の名残りの小雪の舞う根室から、桜の花の蕾がほころびはじめた東京に上京して、最終の乳価運動が行なわれました。

三月に入ってから四次にわたり運動が展開され、乳価と関連対策などが決まりました。

乳価、限度数量、緊急特別対策は昨年同様の現行価格維持となりました。特別対策費の中の一円は、昨年の冷害対策から生クリームなどの需要拡大対策になりました。

今年の畜産物価格の運動の大きな目標は、希望とゆとりの持てる乳価の実現でした。その実現のためには、今後数年間にわたる現行価格の維持と関連対策の強化、充実がどうしても必要でした。

今回は酪農民の要請通りに決まりました。この成果は、現場の個々の農家、系統機関の方々の熱意ある運動をはじめ、政府、国会議員の方々のご尽力によるものでした、改めて感謝を申し上げます。

この成果の中で平成七年度の営

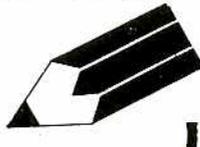
農が始まるわけですが、今後数年間は特に大切な期間でもあります。現行乳価の維持という要請側の立場は、今の乳価水準のうちに経営の力をつけて自由化に備えるとい

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事組合長

三友 盛行



うものです。

一方、農政の立場は生産費の低減の中で、現行価格を容認することによって、将来的に乳価を国際価格に近づけることです。

いずれにしても二〇〇一年の関税の再協議を一つの目標に、それぞれの経営基盤の一層の強化が求められます。

今年は二年振りに、前年を上回る目標数量が設定されました。

それぞれの経営目標に相応しい生乳生産が出来ます。また、平成八年よりの第三次生乳生産計画がはじまりますが、個別酪農家の基本乳量の見直しも行なわれます。過去の実績、将来の希望などを充分踏まえて、経営安定、強化を実現できる基本乳量設定を計画しています。

一方、負債対策では、農家負担軽減支援特別対策が行なわれます。

酪農経営安定強化の必要条件である、生乳生産の拡大、現行乳価の維持、負債対策などが揃いましたが、いずれも経営改善が前提です。経営改善は、従来の様な画一的な拡大だけでは達成されない時代となっています。生産拡大、内部の充実、単位生産性の向上、農作業の質の向上、経営管理向上など個々の農家の草地、労働力、施設などの適正条件に相応しい経

営展開が期待されます。

特に自農場にかなった経営形態を選択する力が経営改善の第一歩となり、求められています。

二〇〇〇年を一つの目標とした場合、五年しかないと考えることと、五年もあると考えることは、同じ五年でも大きく違います。

時代の変化は早く、将来を見通すことは大変難しい時になっています。しかし、五年もあると気持ちに切り替えて、いつの時代にも存続しうる農業を実現したいものです。



拝啓

清少納言様

よその晶子

お久し振りで御座居ます。また年に一度きりの拙い文を差し上げますことをおゆるし下さい。

揺れたので御座居ます。大揺れで御座居ます。五千余名の命も奪われてしまいました。

帝の住まわれていた京の御所もさぞかし揺れた事でしょう。今の世の言葉で表わすと震度五ということなので、殿方もさぞ驚かれた事でしょう。目を愛で盃をかわし、蹴鞠をするなどと優雅な日を送ることはちよつと無理ではないかと思ひます。過ぎし年は京の都も建都千年を祝う行事でいっぱい御

座居ました。佗びと寂の京も趣きがあつて本当に良いのですが、令は觀光一途の賑やかな京の都で御座居ます。花鳥風月を愛でる平安の世とは隔絶されたものがあります。

和歌で恋心を伝えあうあの趣のあるのかな、しかし優雅な行事の中にこの私めを一度、お連れ下さいませ。

清少納言様

よその晶子

春3月

乳価の季節

豊岡 望月 幸夫

おもしろ対話

モ「金子さん今日は、忙しそうです
すね」

カ「ええ、組合便りの編集で毎月

この頃はこんな具合で……ところが何か書いて下さいよ」

モ「おれは文章は書けないけど、口はまあ元気な方だからね。今年の出だしも神戸の事で大変だね。去年の十月の東方沖も、亡くなつた人こそ出なかつたけど、ロールペーラーが酪農家を救つたと思つているんだよ」

カ「それはまた、どうしてですか？」
モ「以前のようにコンパクトベールの頃だったら、牛舎の二階へびつしり積み上げてさ、丁度神戸の互屋根とおなじで、頭重くて牛舎がつぶれる騒ぎが続発したとおもうよ」

カ「そう言うのと、そうですね。ハウスのはやりで施設が助かった点は大きいですね」

モ「それから話は飛ぶけど、ロールペーラーの普及で乳価に響いていると思うんだよ」

カ「風が吹くと桶屋というたとえ話みたいで、ずいぶんまた飛びますね？」

モ「まあ聞いて下さい。一般論であつて、特定個人を話しているんでは無い事を先にことわつてさ。牧草作業もずい分ロールになつてから身体が楽になつて、とくに奥様方は出番が少なくなつて、ふくよかな方が目につく様になつたでしょう」

カ「つまり肥満の人が増えたと言う事ですね」

モ「まあ平たく言うとその通りで、以前に乳価で陳情運動で私も二度農林省へ行った時、よその地区のご婦人の代表で立派な方が来てるわけよ、ほら、太つた……はもらいが少ないって言うでしょうが」

カ「しかし、心に「グサツ」とキズのつく方もおられる様な。組合だよりに載せるには問題のある話ですねえ」

モ「マルコポーロ誌が責任感じて廃刊にしたけど、苦情があつたら一〇〇%私のせいなので心配するなよ」

カ「宜しくお願いいたします」

新職員紹介

平成七年四月一日発令により、新職員六人が採用されましたのでご紹介いたします。皆様よろしくお願ひします。



服部 寛昭
生産部流通促進係



行田 洋子
管理部管理電算課管理電算係



浜名 慎史
(准職員) 給油所係



横田 美代志
(准職員) 店舗係



長谷部 美穂
(准職員) 店舗係



阿部 真由美
(准職員) 店舗係

機構改定 生産部畜産課を廃止し、畜産振興課に統合。

新たに生産部流通促進係を新設いたしました。

定年退職にあたり



小藪 浩三

私、この度、平成七年三月三十一日を以って定年退職をいたしました。組合員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

顧みますと、奉職以来四十一年六カ月の長い間、中標津町農協に勤められたことを感謝の気持ちで一杯です。思い出は限りなくあります。昭和三十六年度から始まった北海道農村電化北電移管事業で、当時俣落小水力発電所の能力不足で、人参電灯程度の送電でした。雪害による送電不能のとき、部落毎に補修作業のお手伝いをして載せたことが思い出します。当時、組合員戸数七百三十戸もあったが、今日では三百四十戸と減少しているが、組合員の経営規模の拡大により、北海道酪農の先進地を出現している今日の姿は頼もしい気がします。今後はむずかしい経営を強いられることと思いますが、組合

員、役職員が一致協力して、農協運営に努力を注いでほしいと思います。最後ですが、役職員、組合員ご家族の皆さんのご健康をお祈りしながら、定年退職のお礼いたします。

定年退職にあたり



高藤 昌之

日増しに陽光も和らぎ春の足音が近づいてまいりましたが、皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。私事、この度平成七年三月、定年を迎え中標津町農協を退職いたしました。顧みますと昭和三十一年奉職以来、今日まで大過なく定年を迎えることが出来たのも、偏に皆様のご支援、ご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。中標津町農協の今後益々の発展と、皆様のご多幸をご祈念申し上げます。退職に当たっての挨拶といたします。長い間どうもありがとうございました。

地区別懇談会
開催される



農協事業運営に向けて

建設的な意見、要望多数出される

平成七年度、農協事業計画を作成するにあたり、組合員の皆様からご意見をいただくため、三月六日から九日にかけて地区別懇談会を開催いたしました。

農協事業の概要については、夏の猛暑、東方沖地震の影響を受け、生乳生産の伸び悩みに加え、購買事業にも影響をおよぼしております。

また、組勘の状況については、乳量の落ち込みにより昨年より約一億円悪化の状況になりました。

この様な農業情勢のなか、乳質乳価に関する質問、生産資材に関する要望など、前向きな意見が各地から出されました。

購買関係については、免税軽油の通年対応、生産資材全般についての要望が多くありました。

乳質改善については、全体の質向上を目指し、対策を講ずるべきではないかなどご意見をいただきました。

ました。

農産関係については、澱粉工場
の再編問題、堆肥の活用方法など
の意見がありました。

資金関係については、スーパー
L資金について各方面よりいろ
ろな話しを聞くが、要領について
早く説明願いたいとの要望があり
ました。

そのほかには、合併問題、ケフ
イアの操業状況、職員の資質の向
上について、なかしべつフーズの
状況についての質問、ご意見を多
くいただきました。

今回の懇談会でいただきました
ご意見、ご要望については理事会
において慎重に協議され、平成七
年度において対応されることにな
ります。

多忙のなかお集まりいただき数
々のご意見、ご提案ありがとうございます
ございました。

JAの建更

東方沖地震で
115百万円の
共済支払い

平成六年十月四日夜間に発生しました、北海道東方沖地震で被害を受けられました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

この地震により、JA中標津の建物更正共済支払共済金は、次の通りとなりましたので報告致します。

建更支払共済金総額

一億二千五百一十万円

内訳 住宅三十四件

七千二百四十一万円

畜舎二十四件

四千五百五十五万円

見舞金三十八件

百十四万円

JAの建物更正共済は釧路沖地震、北海道南西沖地震、北海道東方沖地震で多くの方の建物と家財を保障しました。

理事会

の経過

第十五回理事会の経過

開催日時 平成七年三月十三日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

一、貸付金利息の減免について
以上原案通り決定致しました。

〈協議事項〉

- 一、平成六年度二月末損益統計画について
 - 二、平成七年度第一次収支計画について
 - 三、役員報酬の答申について
 - 四、役員定数の答申について
 - 五、北部三農協合併検討委員会の設置について
 - 六、地区別懇談会の意見について
- 〈報告事項〉
- 一、北海道東方沖地震の支払共済金について
 - 二、生乳生産状況について

第十六回理事会の経過

開催日時 平成七年三月二十七日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

一、平成六年度収支決算見込みと職員の期末手当について

二、平成六年度剰余金（見込）処分案について

三、平成七年度事業計画（案）について

四、平成七年度収支計画（案）について

五、組合員勘定制度取引事務手続きの制定について

六、機構の一部改定について

七、畜産販売集荷業務の業者委託について

八、平成七年度澱粉工場固定資産取得について

九、平成七年度制度資金の貸付について

十、生活店舗課計量器プリンター及び集荷車のリース更新契約について

十一、桜ヶ丘給油所、給油ポンプのリース更新契約について

以上十一議案原案通り決定致し

ました。

〈協議事項〉

一、五十五歳以降の給与体系に対する職組の回答について

二、総会議案説明懇談会の日程について

三、総会前役員協議会の開催日程について

〈報告事項〉

一、平成六年度農業所得税の申告について

二、生乳の生産状況について

三、平成六年度正組合員の出資増口について

四、平成六年度組合員加入及び脱退、資格変更の状況について

五、根室管内組合長会、内部審査休止について

第48回 通常総会のお知らせ

組合に結集し、
協同の力を発揮しましょう

- 日時 4月28日(金)午前10時
- 場所 中標津町トーヨーグランドホテル
- 議案 平成6年度事業報告
平成7年度事業計画(案)など



また、今回の阪神大震災ではかつてない被害が発生し、地震に対する保証内容の優れたJA共済への関心が高まっています。いま、JAでは建物更正共済の おすすめキャンペーンを行なっています。

あなたの建物・家財の保障についてお気軽にご相談ください。

暮らしの

知恵袋



野菜の育ちやすい環境とは

北根室地区農業改良普及センター

日毎に暖かさが増し、春の訪れを感じるようになりました。野菜畑の雪もとけ、いつハウスのビニールをかけようかと思案している方も多いのではないのでしょうか。スーパードでは四季を問わず色彩やかで見た目の美しい野菜が並んでおり、手間のかかる野菜づくりは面倒だという声も聞かれます。そもそも自家用野菜栽培の目的は、家族の健康のために、農薬をあまり用いないで新鮮な野菜をつくり、その野菜の持っている栄養を体に取り入れると共に、野菜の購入費を節減することです。そのため自家用野菜は多少形が悪くて

も、安全なものであることが望ましいでしょう。

一、野菜づくりは土づくりから野菜が健康に育つためには、野菜の好む環境づくりが大切です。春先の土の状態に気をつけて見ましょう。

畑の土づくりには輪作や有機物施用、深耕などが効果的です。

(一)輪作をしましょう。

作物により土壌から吸収する養分の種類と量は異なります。同じ作物をくり返し栽培すると、土壌養分のバランスが悪くなってしまう。同様に土壌微生物や病害虫もその作物を好むものが増殖す

るのです。輪作をすることで養分が調節され、同様に土壌微生物や病害虫もコントロールされ、生育状態や収量は安定、品質も向上します。野菜により連作できる年数は異なりますので次の表を参考に、今年の作付計画を考えて下さい。野菜用ハウスは連作による病害がでやすいので、三年に一回の割合で場所を移動するようにしましょう。

主な野菜の輪作年限

輪作年限	野菜の種類
連作しても障害のでない野菜	カボチャ・ニンジン・ダイコン タマネギ・ネギ・フキ
1年休裁	ホウレンソウ・インゲンマメ タカナ・カラシナ
2年休裁	ニラ・パセリ・レタス・キャベツ セロリ・キュウリ・イチゴ
3～4年休裁	ナス・トマト・ピーマン・メロン ゴボウ
4～5年休裁	スイカ・エンドウ

(二)土壌有機物を高めましょう。土壌の有機物含量が高くなると、

平成7年度

春の総合検診

- 成人病・胃がん・肺がん検診
- エキノコックス症検査

受けて安心、健康が一番

今年も検診の時期が近づいてきました。五月十五日から十六日の二日間、中標津町保健センターで成人病・胃がん、肺がん検診及びエキノコックス症検査が実施されます。



申し込みは五月七日まで、各地区の保健推進員さんへ申し込み下さい。

水はけ、通気が改善され肥沃な土となります。有機物含量を高めるには、

① 茎葉・刈り株・残根など残査有機物の多い作物をつくる（小麦とうもろこし、イネ科牧草など）

② 堆肥を施用する。

③ ハウスなどの狭い場所では、ピートモスを初年度に七〜八坪に一袋（五十粒）、次年度以降十坪に一袋をすき込めば、驚くほど良い土となります。

二、肥料が思わぬ落としあな

家庭菜園は面積が小さいので、肥料の量が分からず過剰に施しやすい傾向になります。

例えば二十坪のハウスに一袋（二十粒）の肥料を施した場合、一畝の畑に百五十袋の肥料を施したこ

ことになるのです。

肥料過剰は作物の適正な生育を防げるばかりでなく、病気がつきやすくなったり、土が砂漠化するなど悪いことばかり。計量カップ一杯の肥料の重さを把握して、面積に合わせて増減するなどの工夫をし、適量施肥を心がけましょう。

三、人間と同様、野菜も高温多湿は大嫌い

露地で果菜類が育ちにくい当地では、ハウスで野菜栽培するのが普通です。気温の低下には注意深い方は多いのですが、高温には気がつけず、日中の温かい日射しのある時でもハウスを締めたまま、ということはありませんか。

ハウスの中は思ったより湿度も高く、野菜達が夏バテしてしまい、

病気になるやすい状態を誘発してしまいます。ハウスの中にも温度計が必要ですね。

野菜にはそれぞれ生育に適した温度がありますが、いろいろな野菜が同居しているハウスの中で、それぞれの適温に合わせることは困難です。おおよそ二十〜三十度の範囲を保つようにしましょう。そのためにも、夏期の日中は前後の扉を開けるのももちろんのこと、横も開けて換気することが望ましいです。

種類名	最適温度 (°C)
トマト	15~25
キュウリ	20~25
ナス	20~30
ピーマン	25~30
カボチャ	20~25
スイカ	25~30
ハクサイ	15~20
キャベツ	15~20
ネギ	10~15

セット加入で
7.4%安く

J・Aの自賠責共済
自動車共済

交通事故は

四十五・四秒に一件

クルマがないと始まらない。それほどクルマは生活に欠かせないものとなっています。

でも便利だったり、快適だったりする反面、ついうっかりでは許されない、ゴメンナサイでは済まされない責任があります。

そこで、J・Aの自賠責共済・自動車共済にご加入ください。自賠責共済とセットでご加入になると、自動車共済の対人賠償掛金が約七・四割安くなります。

J・Aの自賠責共済・自動車共済は、ドライバーの責任と一緒に走る共済です。



詳しい内容については、保健推進員さんから渡されるチラシをご覧ください。

家庭の幸せはまず健康から、家族皆さんで積極的に受診しましょう。

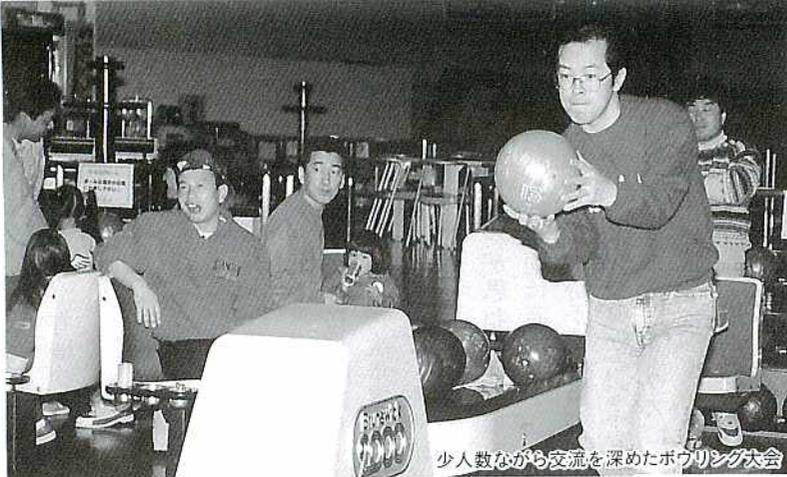
○料金

成人病検診 千七百円

胃がん検診 千二百円

肺がん検診 五百円

※七十歳以上の方、生活保護受給者は無料、中標津町農協組合員及び家族は検診料半額助成となっております。



少人数ながら交流を深めたボウリング大会

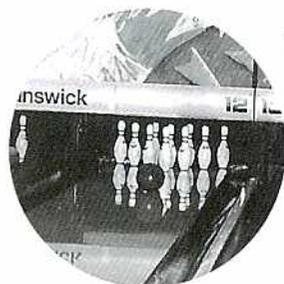
ナイスストライク! 青年部交流ボウリング大会

青年部交流ボウリング大会が3月1日、ウコウボウルで開催されました。この大会は同部レクリエーション委員会の企画で、今回は、部員の奥さんも対象に行なわれました。

3月に入ると税金の申告準備などで忙しいせいか、参加者は20人（部員15人、奥さん5人）と少人数でしたが、2ゲームを楽しく行なう事が出来ました。上位入賞者は次の通り。

男子、1位・遠藤勝美、2位・安達政宏、3位・笠原康博

女子、1位・佐藤直美、2位・佐々木由紀、3位・真野ゆか



さてこれはストライクになるかな?

フ オ ト ア ス ル ズ ム



流れ作業の中で作られる育苗ポット

てん菜育苗プラントが3月16日から稼働を始め、作業場内ではカタカタ、バンバンと力強い機械音の中、手際良く育苗ポットが作られて行きました。

今年のとん菜作付は、31戸で約205ヘクタールを予定しています。

プラントでは、畑作農家の後継者たち約20人が、広げられたポットに土入れをしたり、種子を播種したりと流れ作業の中で次々とポットが作られ、耕作者のトラックへと積み込まれていきました。

畑作の 春を告げる

てん菜育苗プラント



出来上がったポットは大事にトラックに積みまれ、ビニールハウスへと向かいます



昼食を囲みながら昨年度の反省や今後についての活動が話し合われました

アイデアを出しあって楽しい活動を 婦人部役員反省会

平成6年度の婦人部活動を支え、進めてきた役員と支部長を対象に、慰労を兼ねた反省会を3月16日、養老牛温泉・ホテル大いで開催しました。

毎年、活発化してきた婦人部の活動を改めて振り返ってみると、大変だったけれど、楽しい思い出にもなった。また、今後に向けてアイデアを出しあい、気軽にたくさんの部員が参加できるような活動を目指していこうと、話しあいました。その後は、温泉に入り、のんびりと一年間の思い出話に花が咲いていました。



昨年の活動を振り返り、思い出も多い



通年運航の期待を胸に行なわれたセレモニー

中標津と東京、千歳を結ぶ空の便に、中型ジェット機エアバスA320(166人乗り)が4月1日から就航、この日東京行き840便の出発に合わせて中標津空港で記念セレモニーが行なわれました。同機は、これまでのボーイング737に比べ、定員が40人多く、座席幅も広く作られ、イヤホンで音楽も楽しめます。

セレモニーでは、栗田精也営業部長(エアニッポン)があいさつ、続いて、乗客代表や機長、新出町長3人に花束が贈呈されたほか、搭乗客全員に記念品が手渡されました。

この中型機は10月末までの季節運航となっています。

エアバス就航 ゆったり 空の旅



東京へ向けて飛び立つA320

3月の 組合日誌

- 1日 農業所得税申告業務(12日まで)
- 3日 役員定数審議会
- 6日 地区別懇談会(9日まで)
- 9日 婦人部役員会
- 10日 第8回役員協議会
- 13日 第15回理事会
- 16日 青年部新幹事会
- 17日 第7回管理購買委員会
- 20日 第9回営農委員会
- 24日 第8回生産委員会
- 27日 第16回理事会
- 28日 ジュニアホルスタインクラブ
総会
- 30日 棚卸監査
- 31日 第9回役員協議会

編集後記

4月は入学、進学、就職など人生での新しい一歩となる大切な季節でもあります。

組合員皆さんにおかれましては、平成7年度の乳価、畜産関連対策も決定し、新たな思いの中で今年度の営農や、将来に向けての計画を立てて行くことでしょう。

農協よりも、全国広報大賞奨励賞、全道では、審査員奨励賞に入選しました。これも組合員皆様のご協力の賜物とお礼申し上げます。これからも、新たな紙面作りに取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



農村ホリデー講演会

催され、農業関係者ら約五十人が参加しました。
講師は、㈱ライブ環境計画、北海道農村ホリデー推進協議会委員の有山忠男氏で、「中標津町の恵まれた自然を活かし、都市住民との交流をすすめるために」をテーマに講演が行なわれました。

農村地域の豊かな自然、美しい景観、特色ある農村文化などを活かして、都市住民との交流をすすめる農村ホリデーの講演会が、三月二十四日ホテル秀月で開催され、農業関係者ら約五十人が参加しました。

有山氏は、「自分たちの住む北海道の農村の良さが、住んでいる人には、あまりわからないようだが、本州の人たちは、この地をあこがれている」と話し、ファームステイ、山村留学、農作業自然体験室、新鮮でおいしい農産物の販売など都市と農村の交流取り組みが全道各地で活発になって来ている。都市の多くの人々が農村を訪れることによって、人、情報、物の交流が活発になるとともに、農業、農村への理解が深まると説明されました。



農村ホリデーに関心を寄せる出席者